

# クラブインフォメーション



発行:(公財)鳥取県スポーツ協会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地 鳥取県議会棟別館内

TEL:0857-26-7802 FAX:0857-26-8133 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com 令和4年9月 第157号

## 令和4年度 県民まるごとスポーツ推進事業「みんなdeユニスポ」



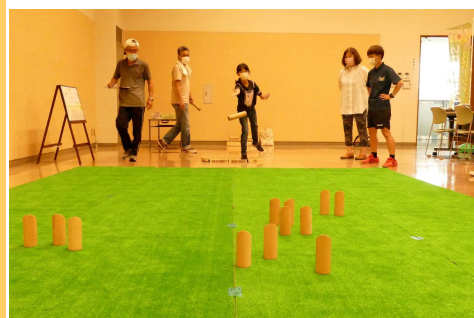
初めてとは思えない豪快な投げ



優しくソフトに投げます



狙いを定めてえいっ！



ピンまで届け！

令和4年7月31日、新日本海新聞社中部地区本社で、サンリンク・スポーツ主催の「県民まるごとスポーツ推進事業：みんなdeユニスポ※1」でユニバーサルスポーツの体験会を実施しました。

※1狙い：年齢や性別、障がいの有無に関わらず気軽にスポーツを楽しむ事業の提供を通じて、県民のスポーツへの意識の高揚を図り、もって本県スポーツ振興を推進することを目的とする。

今回は、小学生から大人の方が参加し、モルック※2に挑戦しました。※2モルックは、モルックと呼ばれる木の棒を投げて、スキttl(木製のピン)の倒れた合計得点が50点ぴったりに得点したチームが勝ちとなるゲームです。

サンリンク・スポーツの平井さんのルール説明の後、3人ずつのグループに分かれチーム戦で2ゲームを行いました。

初めて体験する人が多く、最初は慎重にモルック(木の棒)を投げていましたが、すぐにコツを掴み、勢いよく投げ、スキttlが弾き飛ばされる様子は豪快でした。

ゲームが40点近くになると、どのスキttlを狙うか、チームで作戦をたて進めますが、狙いどおりにスキttlを倒すことができ50点ぴったりで終わるゲームもあれば、50点をオーバーして25点に戻る場面もあり、一喜一憂しながら楽しみました。

チーム戦は、コミュニケーションを図りながらプレーすることで、団結力が生まれ、ゲームを終えるころにはすっかり意気投合しました。

モルックは運動量が無いように見えますが、モルックを投げた人が、拾いに行ったり、倒れたスキttlをチームで起こしたりと、見た目より運動量があり、ゲームを終えた後は心地よい疲労感があります。

初めて参加された方も、モルックの楽しさにはまれ、自分たちの地域でも是非やりたいし、また機会があれば参加したいと話しました。

参加された方の中には、(一社)ほうきスマイリースポーツクラブとスポnetなんぶからの参加があり、クラブ間交流にもなりました。

クラブ間の距離が縮まり、自分のクラブでも新たな種目のスポーツを取り入れるきっかけとなる有意義な体験会でした。

### 連絡先

サンリンク・スポーツ事務局

杉谷 哲治

TEL:090-6436-9196

E-mail:sanrink\_sugi@yahoo.co.jp

## 令和4年度 県民まるごとスポーツ推進事業「みんなdeユニスポ」



股関節回し



砲丸投のフォーム確認



砲丸投のフォーム確認

令和4年8月20日、琴の浦高等特別支援学校の体育館とグラウンドで、琴の浦クラブ主催の「県民まるごとスポーツ推進事業:みんなdeユニスポ※」で「陸上教室」を開催しました。

※狙い:年齢や性別、障がいの有無に関わらず気軽にスポーツを楽しむ事業の提供を通じて、県民のスポーツへの意識の高揚を図り、もって本県スポーツ振興を推進することを目的とする。

【指導者】 上田 祐吉さん

【内 容】

### ■体育館

柔軟体操、体幹トレーニング(プランク、サイドエルボーブリッジ、バックフルアップ、バードドッグ等)、筋トレ(腕立て、腹筋、背筋、バービージャンプ等)、ウォーミングアップ(股関節回し、腿上げ、スキップ、サイドステップ、クロスステップ、両足ジャンプ、タッチダウン等)



スターティングブロックを設置



クラウチングスタートの指導



ダッシュ

### ■グラウンド

50mの練習、砲丸投の練習、400mの練習

50mの練習では、子どもたちがスターティングブロックの設置から行い、足の感覚やスタートしやすいように調整して、自分のスパイクの長さを1足分として、右と左の位置をスタートラインから何足分という形で設置しました。

フォームの確認を何度も行い、スタートを力強く蹴りだす練習を何度も繰り返し、50mのタイムをみんなが計測しました。

砲丸投では、砲丸の中心が中指の付け根にくるように持ち、人差し指小指で砲丸を包み、親指・中指・薬指を添えて押し出すように投げるのですが、投げる直前まで砲丸を首につけておかなければいけません。4キロの砲丸を持ってみました、かなり重く、間違った投げ方をするとケガや故障の原因になるので要注意です。

今日は「2022第27回日本ID陸上競技選手権大会」で3位になった選手の投てきを見ることができました。

400mでは、自分のタイミングで何本がタイムを計って練習をしました。

練習が終わった後は、皆で器具を片付け、トンボをかけてグラウンドを整備しました。

皆が大会で入賞したいという思いが、種目練習のモチベーションになっています。

皆が笑顔で楽しくスポーツができるよう、協力してくれる人が増えると嬉しいです。

連絡先  
琴の浦クラブ事務局  
上田 祐吉  
TEL:0858-55-6477  
E-mail:yukichi3325@chukai.ne.jp



## 県民まるごとスポーツ推進事業「みんなdeユニスポ」



ノーバンでキャッチ



ボッチャボールをサークル内に入れる練習



親子で練習してみる



試合をしてみる

令和4年8月28日(日)、TRAMBOUL(鳥取市緑ヶ丘)で、NPO法人地域スポーツ推進協会主催の「県民まるごとスポーツ推進事業:みんなdeユニスポ※1」で「ボッチャ※2」の体験教室を開催しました。

※1狙い:年齢や性別、障がいの有無に関わらず気軽にスポーツを楽しむ事業の提供を通じて、県民のスポーツへの意識の高揚を図り、もって本県スポーツ振興を推進することを目的とする。

※2ボッチャ:ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6個ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

今回は、ACPを取り入れた準備運動を行ったあと、2組の親子が(当日1組キャンセル)ボッチャに挑戦しました。

【指導者】 間屋口貴仁さん、谷口良登さん、山口剛史さん、押方章太郎さん

【内容】

- \* 言うこと一緒にやること一緒に、言うこと一緒にやること逆
- \* 少し大きめのボールを使って
  - ・床に置いたサークルの中にバウンド(ドリブル)させてみる。バウンドさせて、手拍子してキャッチする。
  - ・親子で向かい合って、立った状態でボールを1度床にバウンドさせてからキャッチする。
  - ・親子で向かい合って、立って状態でノーバンでボールをキャッチする。
  - ・親子で向かい合って、座った状態でボールを1度床にバウンドさせてからキャッチする。
- \* ボッチャのボールの感触を確かめるため上に投げてみたり、少し離れたサークル内に入るよう投げる練習
- \* ゲーム形式で練習してみる。
- \* 2組の親子で試合

試合では、親子でどちらが先に投げるか相談して決め、作戦を立てながら真剣に試合に臨みました。

初めて体験したボッチャでしたが、子どもの上達の早さに驚きました。

【参加者の感想】

- ・作戦立ててゲームするのが楽しかった。
- ・子どもと一緒に手軽にできるスポーツで楽しかったです。

連絡先

NPO法人地域スポーツ推進協会事務局

間屋口 貴仁

TEL:0857-24-5507

FAX:0857-24-9920

E-mail:info@kodomo-sports.com

## 登録認証制度審査委員会を開催しました



登録審査委員会の様子

令和4年8月29日(月)、鳥取県庁第2庁舎第28会議室で、「登録認証制度審査委員会」を開催しました。

【登録申請書類提出クラブ】9クラブ(21クラブ中)

【登録審査委員】

- ・山崎嘉彦(鳥取県スポーツ協会専務理事)
- ・小林一義(鳥取県スポーツ課課長)
- ・上田秀美(鳥取県スポーツ推進委員協議会長)
- ・田淵弘子(クラブアドバイザー)

【事務局】

- ・岸根弘幸(鳥取県スポーツ協会事務局長)
- ・稲田誠一(鳥取県スポーツ協会事務局次長兼生涯スポーツ担当リーダー)
- ・御崎智徳(鳥取県スポーツ協会生涯スポーツ担当サブリーダー)

審査基準は、書類一式が揃っているのはもちろんですが、申請書類①に記載された基準適合状況がクリアされ、その内容が申請書類②の基礎情報書類や、申請書類③の規約・定款に記載された「事業」の中に当てはまっているか、申請書類⑤の活動報告書・決算書などに反映されているか、会員数も申請書類に記載された人数と、申請書類⑥の活動報告書・決算書に記載されている人数と整合性が取れているか等、提出された書類の整合性が焦点になりました。

また、指導者資格保有者について、証明する書類の添付が無い場合、来年度は資格証明書の添付を申請書類⑩(その他都道府県協議会が定める提出物)として提出いただこうと考えています。

初めての審査会で課題がたくさん見えました。来年度に向けて整備していきますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

※今回申請されたクラブの認定期間は令和6年3月31日までとなります。

今回申請されなかったクラブで来年度登録申請される場合は、令和5年6月までに申請いただければ、認定期間が令和5年11月1日～令和6年3月31日までの5か月間となります。

令和6年度以降は毎年前年の11月までに申請いただき、翌年4月1日～翌々年3月31日までの認定期間となります。

## スポトピアとっとりフェスタ2022西部地区実行委員会を開催しました



西部地区実行委員会の様子

令和4年8月31日(水)、南部町総合福祉センターしあわせで、「第2回スポトピアとっとりフェスタ2022西部地区実行委員会」を開催しました。

### 【協議内容】

- ・開催時間
- ・会場確認・使い方
- ・ターゲット
- ・タイムスケジュール(企画)
- ・広報、申込

第1回目で大まかな全体像は決まっていたので、具体的な内容を決めました。

- ・オープニングで各クラブから日頃の成果の発表
- ・体験コーナーでは各クラブから誰でも楽しめるスポーツブースを設置  
※入江聖奈選手には時間を区切って各コーナーを体験してもらう。
- ・入江聖奈選手のトークショー&スパーリング

入江聖奈選手に、各体験ブースをどのように回ってもらうか、スタンプラリー方式にする、色紙を抽選でプレゼント、ノベルティグッズの配布等、色々アイデアを出していただきました。

役割分担については、また相談させていただければと思います。

西部地区全クラブが連携を取って盛り上げて行きたいと思いますのでご協力をお願いいたします。

スポnetなんぶさんには、会場の提供、リモートの対応、司会進行をさせていただきありがとうございました。

### 【参加者】

| ク ラ ブ 名                 | 名 前     |
|-------------------------|---------|
| 一般社団法人ほうきスマイリースポーツクラブ   | 後 藤 弥   |
| 一般社団法人ほうきスマイリースポーツクラブ   | 西村 香緒里  |
| NPO 法人ウルトラスポーツクラブ(リモート) | 金 坂 博   |
| NPO 法人南部町総合型地域スポーツクラブ   | 板 真 悟   |
| NPO 法人南部町総合型地域スポーツクラブ   | 神 田 真 紀 |
| スポーツしよい大山               | 森 永 遥 香 |
| にちなんスポーツクラブ             | 足 羽 覚   |
| 青谷スポーツクラブ(県連絡協議会長)      | 長谷川 和郎  |